



《駄菓子屋のおたえ婆さん》

《駄菓子屋のおたえ婆さん》

【シナリオスペック】

PC人数：1～5名

脅威ランク：2～5

【選択追加ルール】

スキルルール

書籍版掲載のPC拠所・シナリオ拠所を採用するなら、脅威のランクを1ずつ上昇させて構いません。

シナリオ拠所は**おたえ婆さん**とするとよいでしょう。

【ソロ改変】

ソロシナリオに改変する場合は、書籍版掲載のPC人数による行動回数を参照しましょう。

追加ルールは、シナリオ拠所を採用し、シナリオ拠所は**おたえ婆さん**とし、脅威ランクは2となります。

【今回予告】

君たちは世間にその存在を隠して生きている。しかし、そんな君たちにも理解者がいる。

駄菓子屋のおたえ婆さんは、君たちのことを知りながら、しかし変わらず接してくれる数少ない一人だ。

だが、ある日を境に。

おたえ婆さんの駄菓子屋を買い取ろうと、たちの悪い連中が来る日も来る日もやってきた。一体、この店にどんな価値があるのか？歳を取っておたえ婆さんは、子供たちのためにも頑として店を売ろうとはしない。

……何か、自分たちにできることはないのだろうか。

【ストーリー】

直接的な武力ではなく、真綿で締め上げるように、にじりにじりと日常を侵食していくタイプのシナリオです。

駄菓子屋を買い取ろうとしているのは、六道会という指定暴力団です。彼らは駄菓子屋をはじめとして、辺り一帯の土地を買い取ろうと考えているのです。理由は単純明快。今は各駅停車しか止まらないようなこの地域ですが、近々駅を大幅に改修。ターミナル駅として生まれ変わらせる案が持ち上がっているのです。そのため、六道会はまとまった土地を確保するために、駄菓子屋に目を付けました。脅威となるのは六道会ですが、おおもとはその情報を流した政治家など、もっともっと大きな思惑が働く、大がかりなシナリオです。

【異音フェイズ】

おたえ婆さんの駄菓子屋にPCが誰か1人でも立ち寄っていると良いでしょう。

ガラス戸を大げさに開け、いかつい男がおたえ婆さんのところへと大股で近寄り。

黒服「どうですかね、そろそろこの店と土地、お売りいただける決心はつきましたかね？」

おたえ「何度言われましてもねえ……私なんて老い先短いもんですから、ここでね、慣れたとこで商売して、それで終わろうかと思うんです」

黒服「お店なら移築でもなんでもしてあげますから。ね？ 老い先短いだなんてさびしいことを言わずに……ねえ？」

黒服は警察が来ないよう、威圧的なことこそ言いませんが、ねちっこく同じようなことばかりを言い続けます。

おたえ「もう、帰ってもらえませんかねえ……」

男たちはなお食い下がろうとする、と演出しましょう。

PCはそこで止めるかもしれませんが、止めないかもしれません。

しかし、どのような場合でも、PCの方をみた黒服は、息をのんで

黒服「今日はこのぐらいにしておきますが、またきますね」

と立ち去っていく、というところで異音フェイズは終了です。

【脅威データ1】 ランク2～5

名前：六道会 出自：大物 性別：組織

特技：《裏切り》《護衛》《人員》《盗聴》《命令》《光弾》

ランク2：『馬鹿め、影武者だ』『殺戮』

ランク3以上で追加：『エキスパート』

ランク4以上で追加：『狂気(指定特技：人員)』

ランク5以上で追加：『※秘密』

補足：暴力団の構成員を表しています。一人二人というレベルではない人数で、その気になればそれなりの武力を有する集団です。しかし、この駄菓子屋買収には積極的ではなく、またPCたちに積極的に喧嘩を売ろうとは考えていません。狂騒フェイズでは殺戮を繰り返し、駄菓子屋ではなくその周囲の土地を買い取ることで闇を増やしていきます。また、決戦フェイズでの和解は非常にあっさりとしています。駄菓子屋から手を引くし、要求は何もしない。市議から要請が無ければ、下手をすれば警察沙汰になりかねないこの案件に対し、さほどうまみを感じていないことも手伝い、本音を言えば早めに手打ちに従っているというところではあります。



【情報】 ランク 2

項目 1 : 黒服の素性 指定特技 : 盗聴

公開タイミング : 異音フェイズ

黒服は六道会という暴力団の構成員である。

表向きは不動産業をしていることになっているが、いわゆるフロント企業と呼ばれるもので、六道会の身内と言っていい。

項目 2 六道会の思惑 指定特技 : 人員

公開タイミング : 項目 1 開示後

六道会は市議会議員とつながり、駄菓子屋周辺を買い取るよう促された。

しかし、裏の世界では君たちの話も伝わっており、何かあるのではないかと組員はこの仕事に消極的だ。

一人二人、何かあれば、すぐさま手を引くだろう。

【情報】 ランク 3

項目 1 : 黒服の素性 指定特技 : 盗聴

公開タイミング : 異音フェイズ

黒服は六道会という暴力団の構成員である。

表向きは不動産業をしていることになっているが、いわゆるフロント企業と呼ばれるもので、六道会の身内と言っていい。

項目 2 : 駄菓子屋の価値 指定特技 : 裏切り

公開タイミング : 異音フェイズ

駄菓子屋自体にはまるで価値はない。

それどころか近隣の地価は安く、無理をして買い取る価値は到底ない。

今のところは。

しかし、数年後に駅の改修工事をするとのうわさがあり、その通りに行けば地価は今と比べ物にならないレベルで上がるだろうと予想できる。

項目 3 : 六道会の思惑 指定特技 : 人員

公開タイミング : 項目 1 開示後

六道会は市議会議員とつながり、駄菓子屋周辺を買い取るよう促された。

しかし、裏の世界では君たちの話も伝わっており、何かあるのではないかと組員はこの仕事に消極的だ。

一人二人、何かあれば、すぐさま手を引くだろう。

【情報】 ランク 4

項目 1 : 黒服の素性 指定特技 : 盗聴

公開タイミング : 異音フェイズ

黒服は六道会という暴力団の構成員である。

表向きは不動産業をしていることになっているが、いわゆるフロント企業と呼ばれるもので、六道会の身内と言っていい。

項目 2 : 駄菓子屋の価値 指定特技 : 裏切り

公開タイミング : 異音フェイズ

駄菓子屋自体にはまるで価値はない。それどころか近隣の地価は安く、無理をして買い取る価値は到底ない。

今のところは。しかし、数年後に駅の改修工事をするとのうわさがあり、その通りに行けば地価は今と比べ物にならないレベルで上がるだろうと予想できる。

項目 3 : 六道会の思惑 指定特技 : 人員

公開タイミング : 項目 1 開示後

六道会は市議会議員とつながり、駄菓子屋周辺を買い取るよう促された。

しかし、裏の世界では君たちの話も伝わっており、何かあるのではないかと組員はこの仕事に消極的だ。一人二人、何かあれば、すぐさま手を引くだろう。

項目 4 : 市議会議員 **指定特技 : 命令**

公開タイミング : 項目 3 開示後

六道会とつながっている市議はかつて道路族と呼ばれ、交通関係で利益を得た人物である。

彼の目的は土地の転売での利益もそうだが、それ以上に君たちである。

彼は六道会を利用して、君たちをどこまでなら怒らせずに済むか、それを探っている。

【情報】 ランク 5

項目 1 : 黒服の素性 **指定特技 : 盗聴**

公開タイミング : 異音フェイズ

黒服は六道会という暴力団の構成員である。

表向きは不動産業をしていることになっているが、いわゆるフロント企業と呼ばれるもので、六道会の身内と言っていい。

項目 2 : 駄菓子屋の価値 **指定特技 : 裏切り**

公開タイミング : 異音フェイズ

駄菓子屋自体にはまるで価値はない。

それどころか近隣の地価は安く、無理をして買い取る価値は到底ない。

今のところは。しかし、数年後に駅の改修工事をするとうわさがあり、その通りに行けば地価は今と比べ物にならないレベルで上がるだろうと予想できる。

項目 3 : 六道会の思惑 **指定特技 : 人員**

公開タイミング : 項目 1 開示後

六道会は市議会議員とつながり、駄菓子屋周辺を買い取るよう促された。

しかし、裏の世界では君たちの話も伝わっており、何かあるのではないかと組員はこの仕事に消極的だ。

一人二人、何かあれば、すぐさま手を引くだろう。

項目 4 : 市議会議員 **指定特技 : 命令**

公開タイミング : 項目 3 開示後

六道会とつながっている市議はかつて道路族と呼ばれ、交通関係で利益を得た人物である。

彼の目的は土地の転売での利益もそうだが、それ以上に君たちである。

彼は六道会を利用して、君たちをどこまでなら怒らせずに済むか、それを探っている。

項目 5 : 六道会 **指定特技 : 命令**

公開タイミング : 項目 3 開示後

六道会は駄菓子屋の買い取りで、君たちの出かたを伺っている。

何もしないのであれば、それでよし。

しかし、君たちが動くのであれば、市議への義理立ても兼ねて、一応の動きだけはするが、それ以上足を踏み込もうとは考えていない。

画像はジュエルセイバーFREEからお借りしています。

URL : <http://www.jewel-s.jp/>